

事業所名

介護支援センターながさき デイサービス・ステーションやよい

支援プログラム

作成日

令和7 年 2 月 17 日

(別添資料1)

法人（事業所）理念		“愛と信頼、そして幸せ” 住み慣れたところで、そこに住む人々と共にいきいきとした生活を送るために・・・ 愛：私たちは「安心・安全・安定」を追及するために、目くばり・気くばり・心くばりに努めます。 信頼：私たちは、地域と共に協力し、思いやりのある関係作りを目指します。 幸せ：私たちは心豊かなゆとりと、温もりのある人間関係（ヒューマン・ネットワーク）を育みます。									
支援方針		住み慣れた地域で暮らし、家族や支援者と共に様々なことを共有しながら社会生活の基礎となる成長過程を見守っていきます。また高齢者や障害を持った方々との関係作りの支援をいたします。									
営業時間		月～土 9 時 0 分から 16 時 30 分まで				送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	【食育】季節の行事食などで、食事に対する興味関心や理解を深めるように、また好き嫌いが出ないように声掛け支援します。 【健康状態の把握】健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行います。その際、意思表示が困難な子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細やか観察を行います。 【基本的生活スキルの獲得】身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。									
	運動・感覚	【運動支援】日々の運動や活動によって基礎体力をつけることで、丈夫で健康な身体を獲得します。 【音楽療法】音楽を楽しみながら、人が本来持つ様々な力の発達を促します。									
	認知・行動	【学習支援】ルールや宿題など、それぞれの成長に沿って支援します。できることを少しずつ増やし、成功体験を味わうことで、達成感や自信につなげていきます。 【作業療法】作業療法士が個別療育にて、認知機能や感覚統合の発達を促すよう支援を行います。 【認知の偏りへの対応】認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。 また、こだわりや偏食等に対する支援を行います。 【行動障害への予防及び対応】感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。 【感覚や認知の活用】視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。									
	言語 コミュニケーション	【人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得】個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。 【指差し、身振り、サイン等の活用】指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 【読み書き能力の向上のための支援】活動を通して子どもたちに、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。									
	人間関係 社会性	【ソーシャルスキルトレーニング】対人関係や社会生活を営むために必要なスキルを身に付けることができるよう支援します。 【ビジョントレーニング】見ることに関連する様々な力や機能を向上させ、生活や学習上の問題の改善やイメージ通りに体を動かすことができるよう支援します。 【自己の理解とコントロールのための支援】大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。 【集団への参加への支援】集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団レク、集団活動に参加できるよう支援します。 【アタッチメント（愛着行動）の形成】人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。									
家族支援		本人のコミュニケーションや判断する仕草等を、個別支援の場面の観察や連絡帳などの連絡ツールや面談の機会などを通じてお伝えし、共有を行います。				移行支援		・必要に応じて行事など、普段と異なる活動の際の子どもとの関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示していきます。 ・学校などの連絡と当事業所の連絡内容を相互に確認し、日々の様子を観察を交換していきます。			
地域支援・地域連携		・定期的に地域のイベントなどへ出かけ、長崎独自の文化（おくんち、ランタンフェスティバルなど）やあらゆることに興味・関心を持ち、楽しみながら様々な経験を積み重ねていきます。 ・必要に応じて連携会議を開催し、情報収集・役割分担について協議していきます。 ・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での子どもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。				職員の質の向上		・定期的に職員に対し研修を実施し、個々の知識等のスキルアップを図ります。 ・定期研修や全体の職員会議を実施し、療育内容や業務の改善など情報収集や共有を行い質の向上に努めます。			
主な行事等		学習支援（宿題・自由研究など） 作業療法（折り紙・塗り絵など）、 ビジョントレーニング（ビデオプログラムなど） 運動、集団レク（散歩や集団体操、季節の行事イベントなど）									